

【地区の魅力】

標高 500m前後の山林主体の丘陵地と、斜面は急峻だが、山頂部は比較的緩やかな地形がダイナミックな独特の景観を作り出している。

宇甘川や足守川、日近川上流部の谷筋と丘陵地上部には、まとまりある農家集落が分布し、山並みや農業景観と一体となって特徴ある景観を形成している。

地区北部の急斜面頂部に位置する農家集落から見える、丘陵地上部の山並みや、岡山市街を望む雄大なパノラマ景観が特徴である。

中山間地域の傾斜がある農地では、棚田状の水田が広がり、美しい農業景観として地区の魅力となっている。

地区全体に樹林地や農地が広がっており、「ホタルの里」に指定されている足守地区は市内一のホタルの発生地となっているなど豊かな自然環境に恵まれている。

【地区の課題】

標高が高く集落から離れている農地や、北斜面に当たる農地では、耕作放棄されている部分も散見され、厳しい条件にある農村集落、農村景観を維持・保全していくことが望まれる。

丘陵部頂部の大規模開発や、岡山賀陽線の道路のり面が、眺望景観を損なっており、これらを適切に規制・誘導していくことが必要である。

空港周辺は、沿道の景観整備などを進め、玄関口としての雰囲気づくりが必要である。

【景観づくりの目標】

山並みと調和した美しい棚田景観や、谷筋に流れる川に緑が色濃く映える自然景観を大切に守りながら、自然と身近にふれあえる景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



歴史的景観資源としての河原邸



里山の山裾に佇む農村集落



歴史的景観資源としての日応寺



棚田状の農地が広がる集落



山並みの緑が映える黒谷ダム



宇甘川沿いに広がる農地と集落

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 豊かな緑の景観を維持、保全する	丘陵部などの緑を守り、活かす。
	大規模開発行為を適切に誘導する。
2. 丘陵地の農業景観を保全する	都市農村交流など新たな視点による農村景観の魅力づくり。
	丘陵地、谷筋に残る棚田の景観を守り、活かす。
3. 眺望景観を活用する	眺望景観を活用する視点場等を整備する。
4. 空港周辺の景観を修景する	空の玄関口にふさわしい景観形成を進める。
	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
	緑豊かな沿道景観を形成する。

図 景観づくりの方針

